契（ちぎり）通信VOL.124

２０１６年４月２９日発行
株式会社チキリ　社長室編集

社員の家族に感謝

ここ数年４月は天気が荒れるようです。昨年は大雨や突風そして雹が降り、更に記録的に日照時間が短くて野菜が高騰しました。今年も昨年同様、大雨、突風、降雹とやはり荒れた天気の日が多くありましたが、ここ数日は穏やかな晴天が続いています。春の旅行日和ですね。

旅行といえばゴールデンウィークに突入しました。新年度が始まったと思ったらもうゴールデンウィークです。今年は7連休の会社も多いいかと思いますが、当社の勤務日はカレンダー通りで、尚且つ３０日は第５土曜日で出勤日です。今年のゴールデンウィークの連休は３・４・5日の３日間だけとなり　金の週」とはいいがたい連休となっています。

しかし、一方で連休は当社にとっては稼ぎ時です。お客様の工場が操業を停めている時に内部の改修をさせて頂いております。その分工事担当者は休日出勤となり、それこそゴールデンウィークどころではなくなってしまいます。恐らく奥さんや子供さんからは攻められているのでしょう。社員の奥さんそして子供達「ごめんなさい。」お父さんを叱らないで下さいね。

代表取締役　服部厳一郎

なんだ・かんだ

◆　キレる女　懲りない男　◆　　黒川伊保子　　ちくま新書

先日、「男女の脳の違いを理解して仕事に役立てよう」という内容で、黒川伊保子さんのセミナーを聞きました。大変おもしろかったので直ぐその著書を購入したのでご紹介致します。

男性と女性の物事を見て認識し、感じ、思考する脳の回路は違う。脳は装置であり、目・耳などの知覚部位から入力されたデータは、脳内の一千数百億個というニューロンという装置により演算が行われ、様々なイメージや思考となって出力される。その脳という装置の特性は男性と女性とは明らかに違う。男から見て当然と思うことが女性からは理解されず、また逆もある。本通信はほとんど男性へ配布しているので、著書で女性の「取説」と表現されている事項を紹介します。日々の生活に役立ててください。夫婦仲・会社の男女関係が好転すること請け合いです。

◆◆

〇何が言いたいかわからない長い話でもとにかく話を聞く。：女性は１日 6000 語しゃべる。男性は 1000 語程度。聞くことで好感度 UP

〇「言ってくれればやったのに」は禁句。：女性は子供のあらゆる状況を見て察し、不測の事態を未然に防ぐ。男性はこの察する能力が低い。察してあげられないのは、大切に思っていないということになる。言いそうになったら、「気が付かなくてゴメン」が正しい対応

〇過去の浮気を告白してはいけない。：想像を超えて、生々しく過去の五感の記憶を解凍してしまい、今起こっている様に感じてしまうから。

〇過去を蒸し返されたら優しく謝る。：過去の記憶を臨場感たっぷりに再現するのは、女性の性(ｻｶﾞ)なのでぐっとこらえてやり過ごす。

〇女性がキレたら理由を追求せずただ真摯に謝る。：些細な事でキレた様に見えても、裏には過去の膨大な記憶が呼び起こされている。

〇答えようのない質問に善処する。：「あなたってどうしてそうなの」「仕事と私とどっちが大事」などに対しては、ただただ謝ること。

〇言葉の反復と体験返し。：女性には共感が大切。「頭が痛いの」と言われたら「頭が痛いのか」と反復し、「かわいそうに」と付け加える。

〇結果良かったことについて、過去の失敗を指摘しない。：プロセス重視の女性は、過程のほころびを指摘されると感情が破綻してしまう。

〇過去をねぎらう。：プロセス重視だから、過去を褒められると嬉しい。「あの時の君の一言良かったよ」

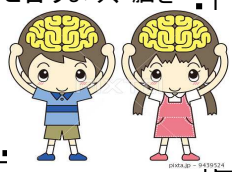
〇言葉のダイヤモンドをあげる。：「君の味噌汁を飲むのも３０年になるな」女性にとっては、人生が肯定された至福の言葉となる。

〇そろそろ君の〇〇が食べたい。：「今晩何が食べたい」の問いに「何でも良い」ではだめ。

〇貴方のお薦めは。に即答する。：女性は一度決めたら迷わない。選択に迷っている男性は「使えない」と思われてしまう。

〇職場の涙は見て見ぬ振りをする。：その涙は悲しいと言うより、脳をパニックから守る生理現象で汗と一緒である。

以上、１５項目ある中からの抜粋です。会社で女性社員の扱い方が分からない、夫婦・恋人関係に悩んでいる方にお薦めの一冊です。



社員ブログ

●子供が生まれ２ヶ月●　　建設部　松江　和己

子供が生まれ 2 カ月が経ちました。夫婦 2 人の生活が 3 人となり、日常の中心が子供に切り変わり、毎日の生活も慌ただしい日々を送っております。

子供が生まれる前は、私が居間でそのまま寝てしまうのが原因の夫婦喧嘩もありましたが、今はそれもなくなり、夜は９時には寝室に入り子供を寝かしつけています。我慢することも多々ありますが、それ以上に楽しい生活を送ることが出来ております。

毎日の仕事の疲れも子供の顔を見ると癒される為、充実した毎日を送らせて頂いております。

●我が家の一大事●　　営業部　西家公彦

今回は以前書きました家族についての話です。

まずは長女ですが 3 月に無事高校を卒業でき進学することになりました。家を離れての暮らしになり親としてはさみしい限りなのですが本人の希望もあり泣く泣く了承をしました。

続いては長男ですがこちらも無事中学を卒業しまして高校へ進学することになりました。姉弟ダブルの入学に当たり引っ越しや書類の準備等々あり大変でしたがこれから二人共楽しい生活を送れるよう応援していきたいと思います。

がんばれ！

■　床の段差・傾き・沈下でお困りではないですか　■

床の沈下により、さまざまな問題が生じてきます。

〇商品棚が傾く　〇フォークリフトの走行に支障が出る

〇機械の水平が取れない　〇台車が勝手に動き出す。等々

床を剥がして作り直すには費用もかかるし、長期に操業を停止しなければならない。そんなお悩みをお持ちの方は是非当社にご相談下さい。

「傾いた」「たわんだ」「沈下した」床下に、特殊膨張樹脂を注入し、樹脂の膨張力で床を押し上げて水平に戻します。精度はmm単位。５００㎡以上の広い範囲でも１日で施工可能です。また、水を使わないので、商品・機械を汚しません。お困りの方、弊社営業マンにご相談下さい。

本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思います。次回からの発送を中止させて頂きます。

・株式会社　チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73
Tel 055-971-9610　Fax 055-973-1534
E-mail gen@chikiri.com　URL http://www.chikiri.com/